

整備プログラムの策定方針

これからの道路整備は、みなさんのニーズや、客観的なデータによる評価結果を踏まえて、**事業の峻別**を行うとともに、課題の大きさの程度や緊急性、整備効果等を考慮して、**投資の重点化**を図っていきます。

【客観的なデータによる評価】

課題の大きさの程度や緊急性、整備効果等を考慮

【整備プログラムの策定】

- 重点的に取り組む事業の早期完成（供用）
- 他事業との関連性・進捗との整合性
- 事業の進捗状況の勘案
- 予算枠

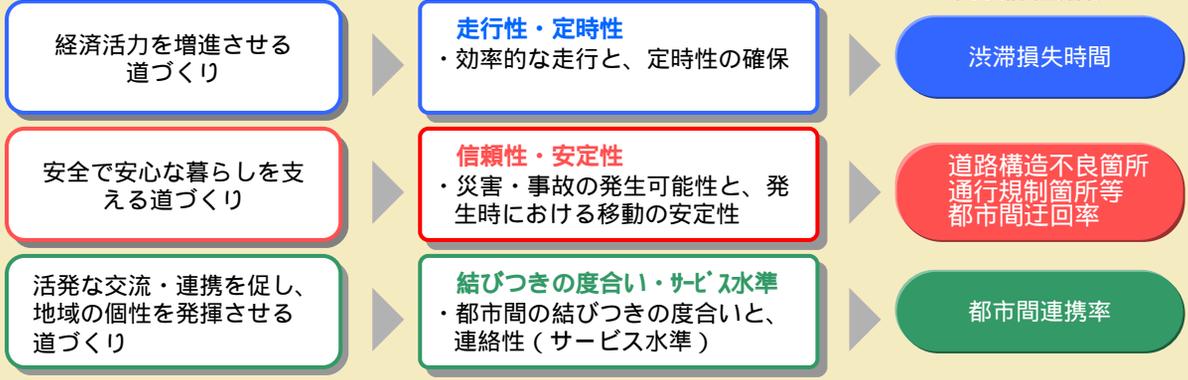
などを**総合的に判断**。



直轄事業（新直轄を除く）における整備プログラムの考え方

「中国地方の道づくりビジョン」における“道づくりの方針”及び“成果を表す指標（アウトカム指標）”を基に、現在、道路の各区間が抱えている課題の大きさについて、客観的なデータを用いた評価を行いました。

客観的なデータによる評価



課題の大きさの程度や緊急性、整備効果等を考慮

整備プログラムの策定

他の関連事業との整合性、事業の進捗状況や、予算を勘案し、**各事業について、整備プログラム（供用目標年度の設定）を策定**しました。

【整備プログラムの策定方針】

- 重点的な取り組む事業の早期完成（供用）
 - 他事業（国幹道など）との関連性 進捗との整合性
 - 事業の進捗状況の勘案
 - 予算枠
- など

整備プログラムの策定（事業ごとに供用目標年度を設定）